

令和4年度地方公務員のメンタルヘルス対策に係るアンケート調査 — 調査概要 —

団体数：全地方公共団体（1,788）

（都道府県（47）、指定都市（20）、市区（795）、町村（926））

対象：首長部局

調査時点：令和4年4月1日

調査項目：Ⅰ メンタルヘルス対策に関する計画等の策定状況等

- ・ 計画等策定担当部署の職員数
- ・ 計画等の策定の有無
- ・ 計画等の種類
- ・ 計画等の改定の有無
- ・ 計画等の定期的な見直しの有無
- ・ 計画等の策定等の際に参考としたもの
- ・ 計画等と関連性・連動性のある計画等の有無
- ・ 計画等に関する職員向けの説明会・研修の実施の有無
- ・ 計画等の公表状況

Ⅱ 計画等の策定にあたって工夫・考慮した点等

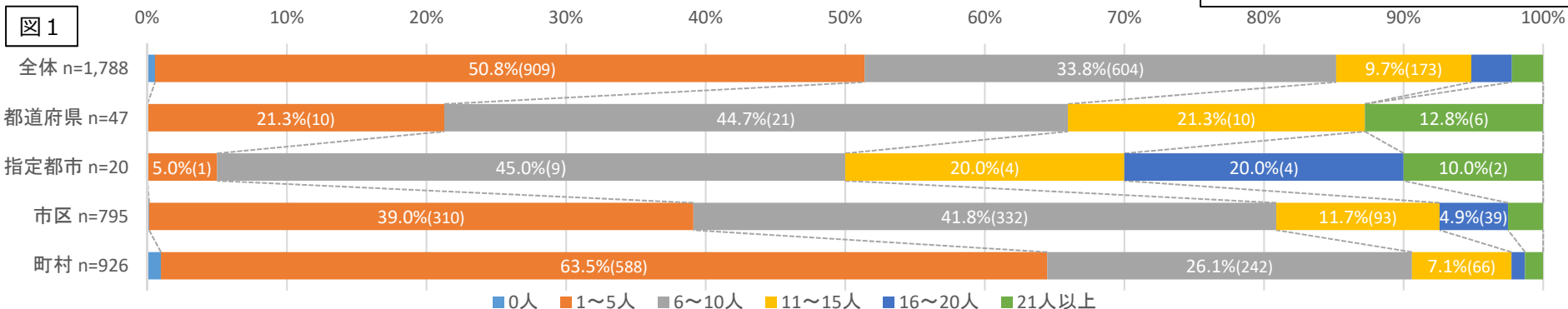
- ・ 公務の特性等を踏まえ工夫・考慮した点
- ・ 計画等の策定にあたり課題となった点
- ・ フォローアップ実施状況

※本調査において対象とする「メンタルヘルス対策に関する計画等（以下、本調査概要において「計画等」という。）」は、「予防及び早期発見・対応、メンタルヘルス不調者の療養中、メンタルヘルス不調者の職場復帰・再発防止の各ステージに応じて、関係機関それぞれの役割と連携を明示」するなど、全庁的・計画的に継続して「関係者でメンタルヘルス対策についての認識を共有し取り組むため」に策定したメンタルヘルス対策に関する計画や基本的対応方針を指すものとし、名称は問わず、例えば「労働者の心の健康の保持増進のための指針」（平成18年厚生労働省策定、平成27年改正）に基づく「心の健康づくり計画」も含むこととしている。

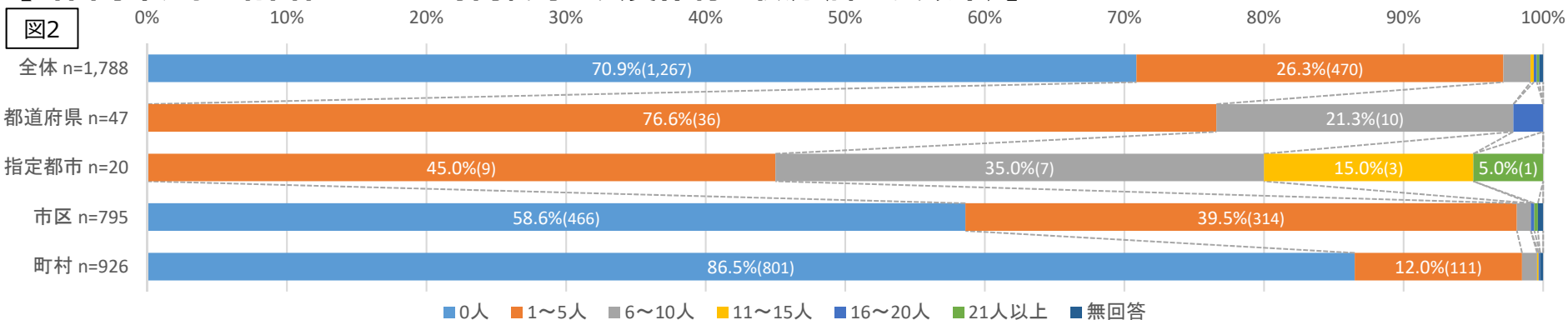
I メンタルヘルスに関する計画等の策定状況等

【計画等策定担当部署における人員体制の状況（課室長以下）】

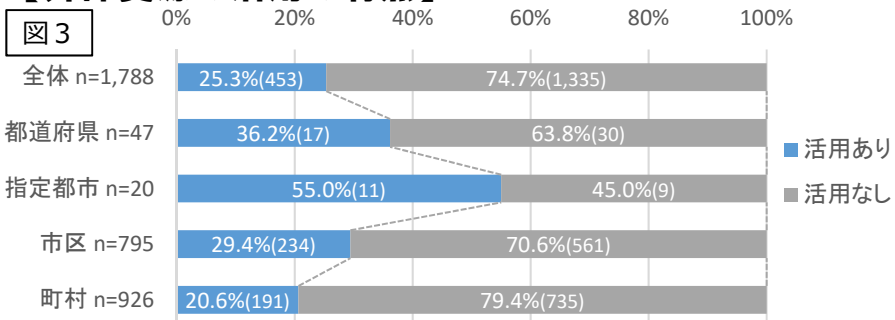
※各図の（ ）内の数値は団体数を示す。
※極端に小さい数値は記載していない。



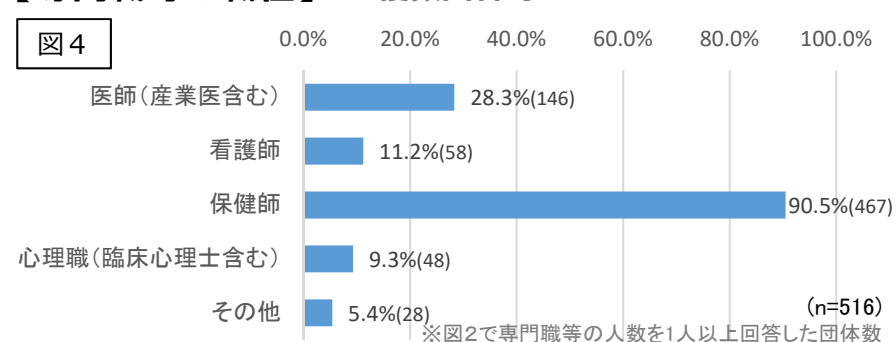
【計画等策定担当部署における専門職等の人員体制の状況（課室長以下）】



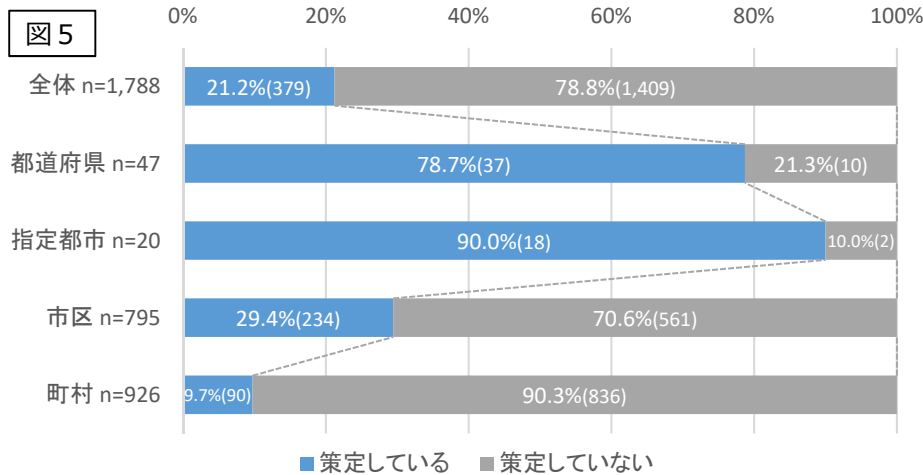
【外部資源の活用の有無】



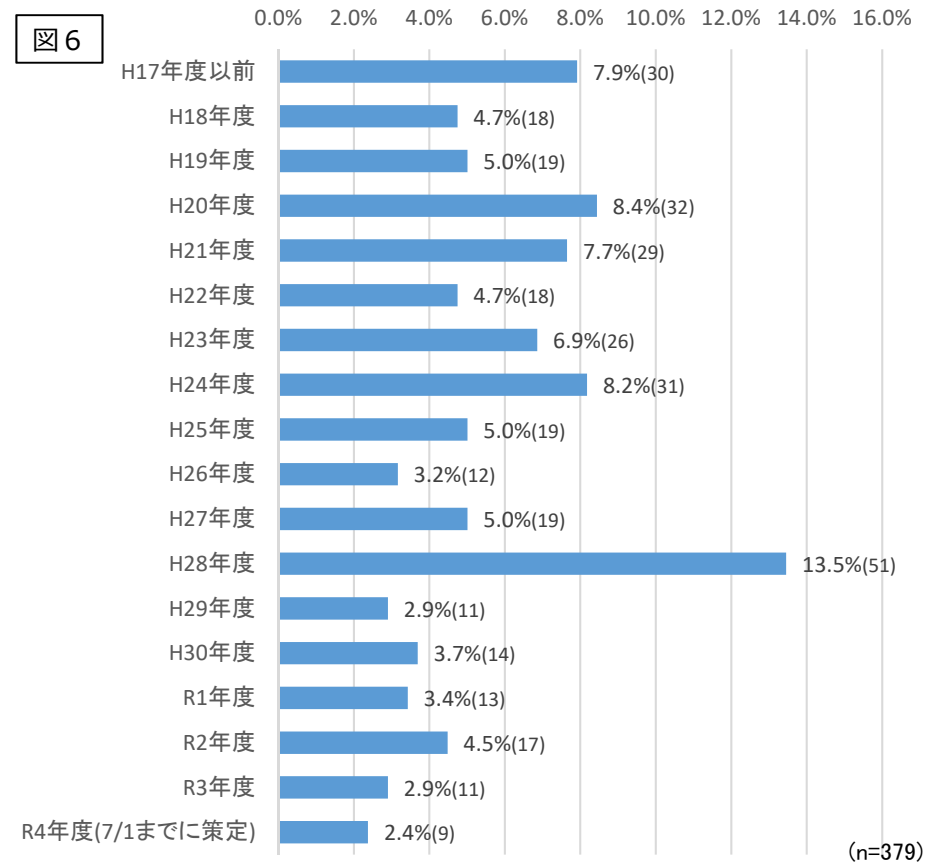
【専門職等の職種】 ※複数回答可



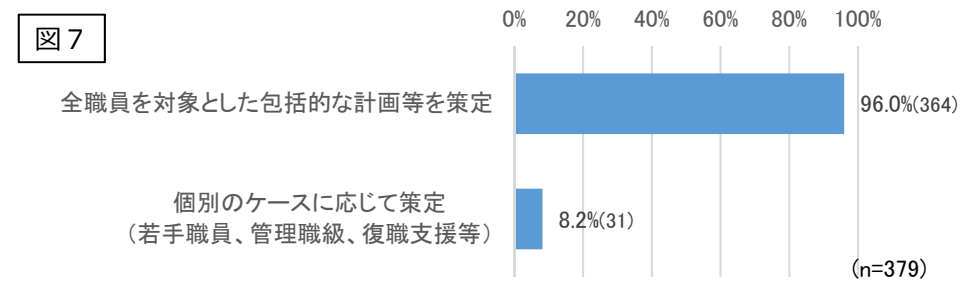
【計画等の策定状況】



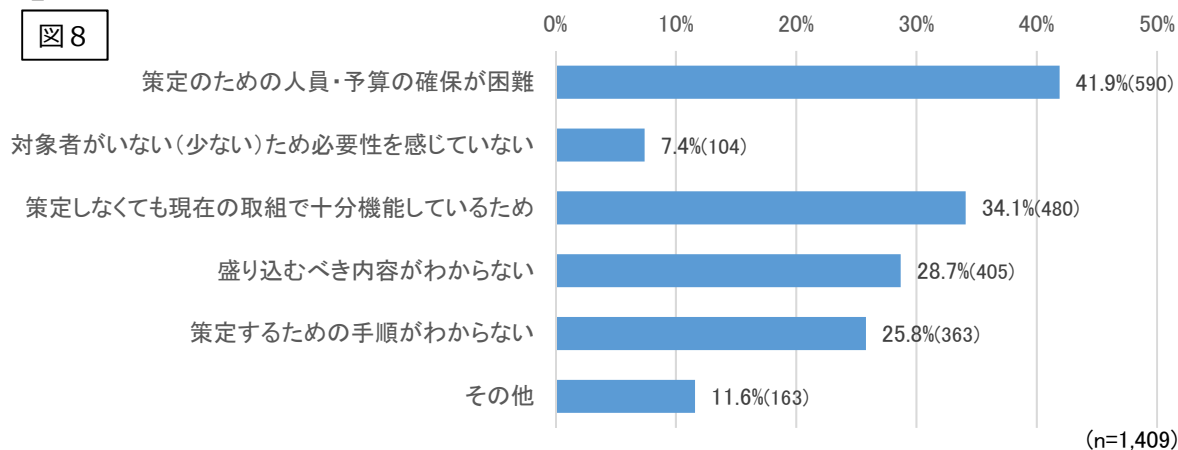
【策定（当初）年度】



【計画等の種類】 ※複数回答可



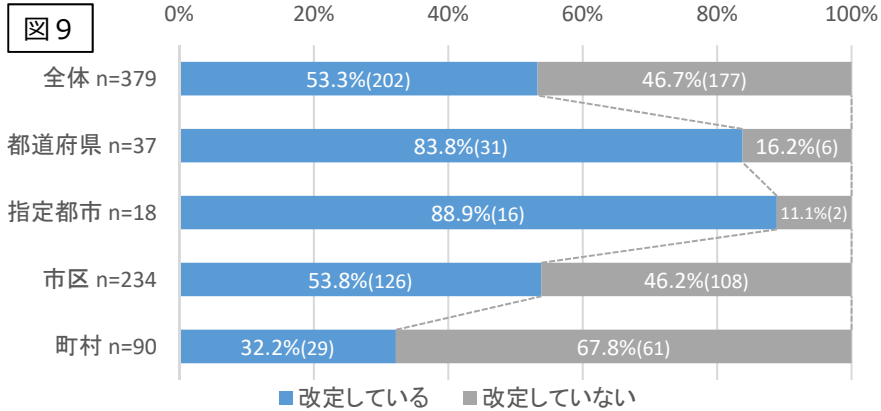
【計画等を策定していない理由】 ※複数回答可



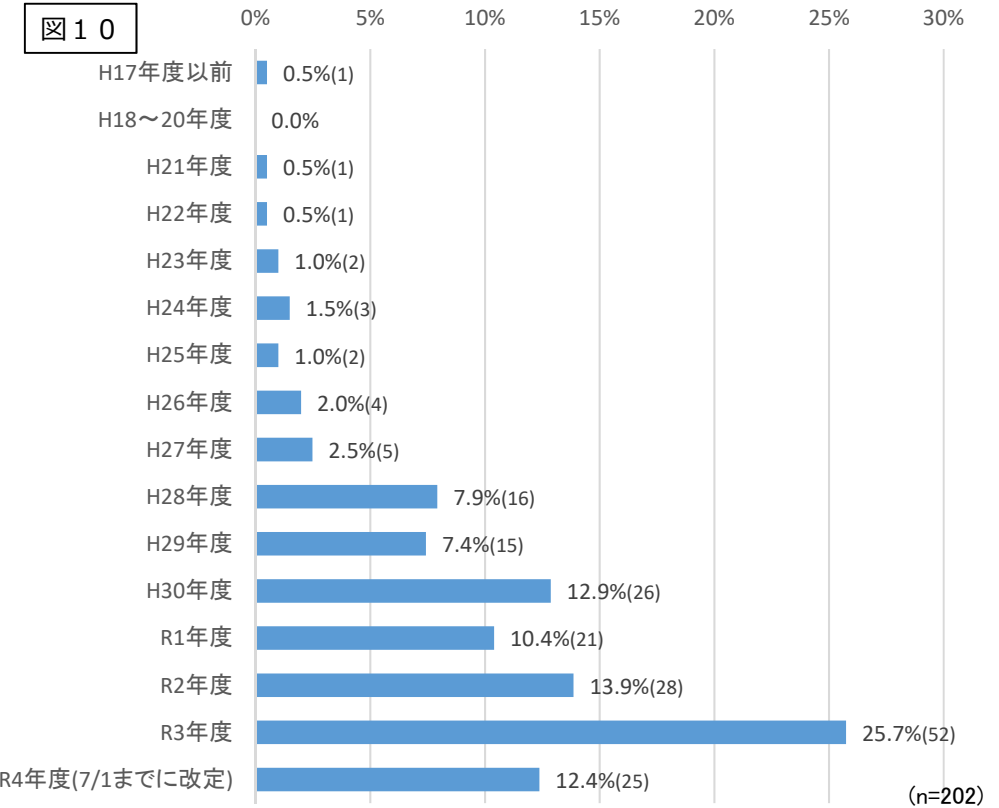
○ 「その他」の主な内容 (自由記載)

- ・策定に向け検討中または今後検討予定
- ・他団体（国、県など）の計画等を参考にしている
- ・医学的知識など高い専門性があるため難しい
- ・安全衛生委員会において方針や実施計画等を策定し対応
- ・役職、休務者の状況などに応じた個別のマニュアルを策定しているため、全体的な方針等は策定していない

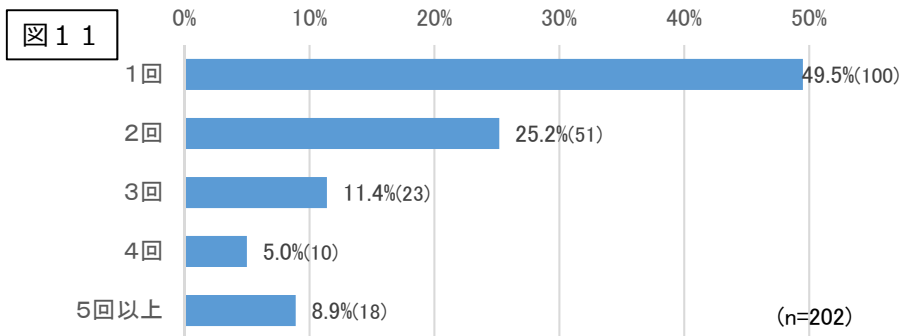
【計画等の改定状況】



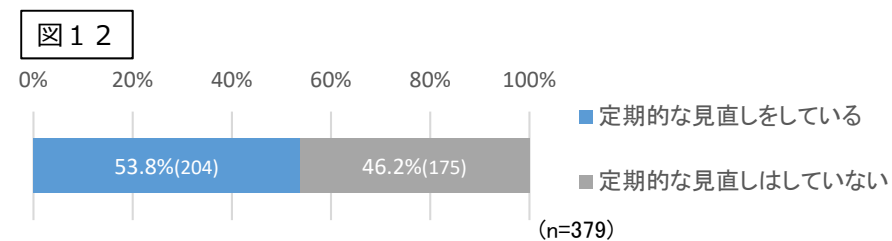
【直近の改定年度】



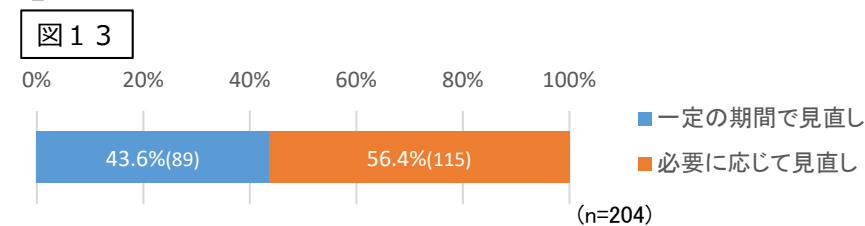
【改定した回数】



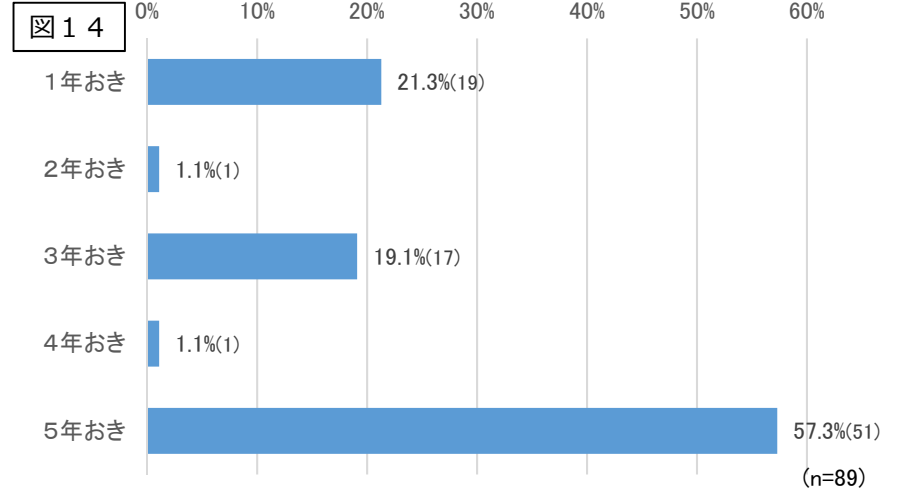
【定期的な見直しの状況】



【見直しの期間】

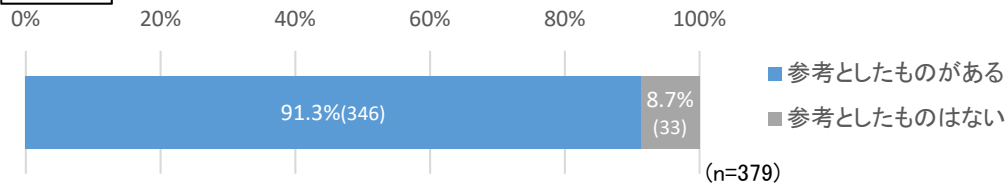


【具体的な見直し期間】



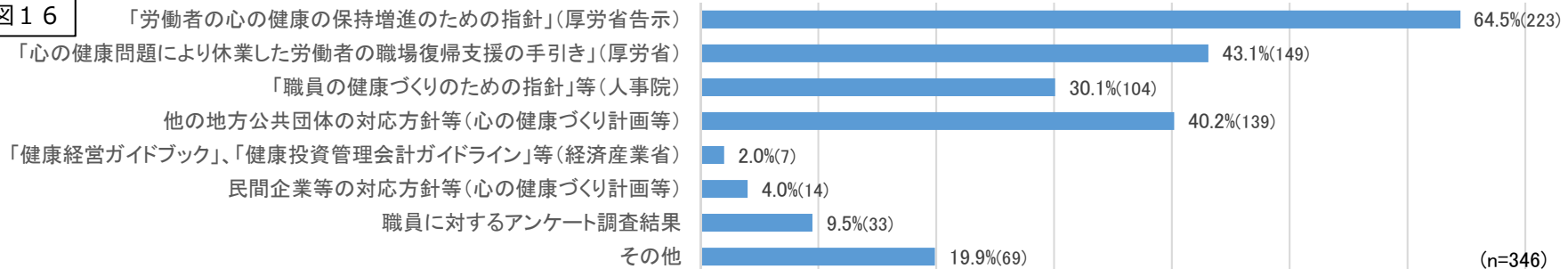
【策定、または直近の改定の際に参考としたもの】

図15



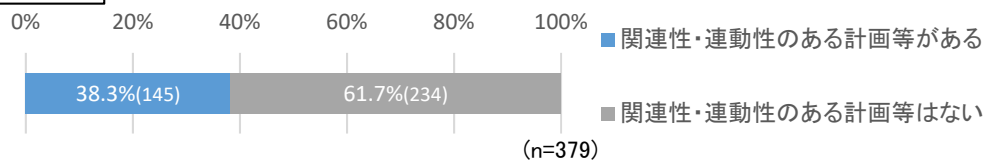
【参考としたもの】 ※複数回答可

図16



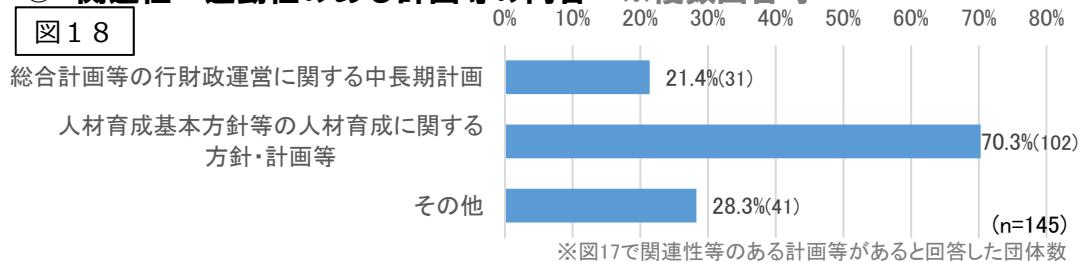
【メンタルヘルス対策に関する計画等と関連性・連動性のある計画等の有無】

図17



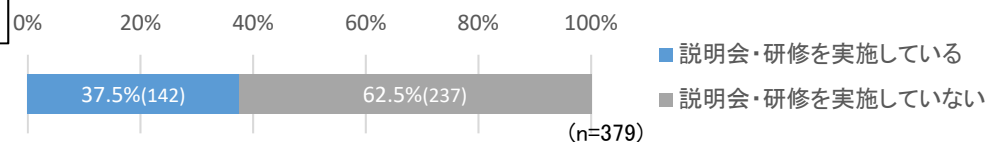
○ 関連性・連動性のある計画等の内容 ※複数回答可

図18



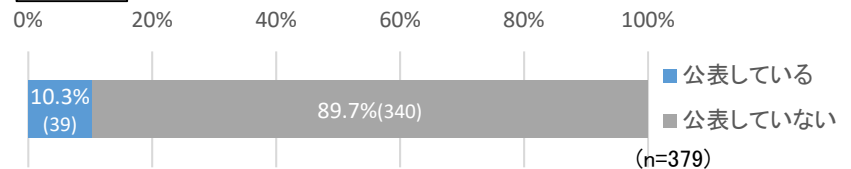
【計画等に関する職員向けの説明会・研修の実施】

図19



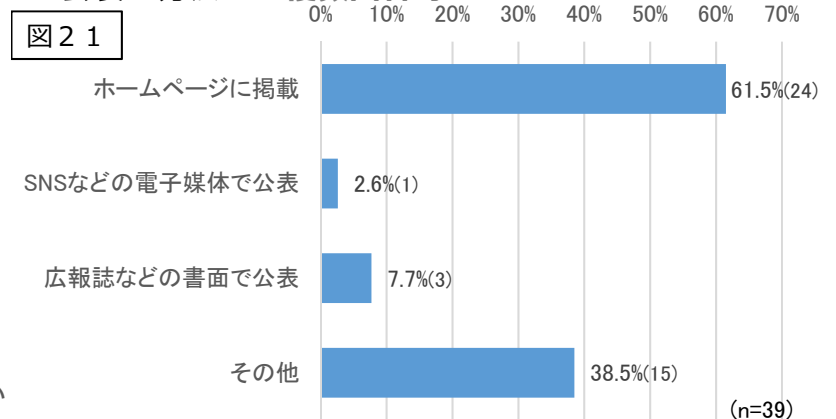
【計画等の対外的な公表】

図20



○ 公表の方法 ※複数回答可

図21



Ⅱ 計画等の策定にあたって工夫・考慮した点等

【工夫・考慮した点】

図 2 2

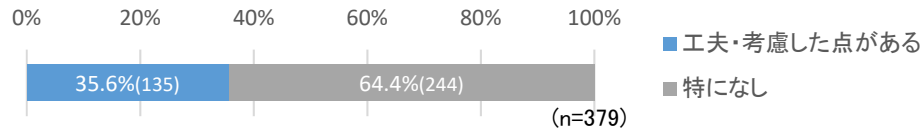
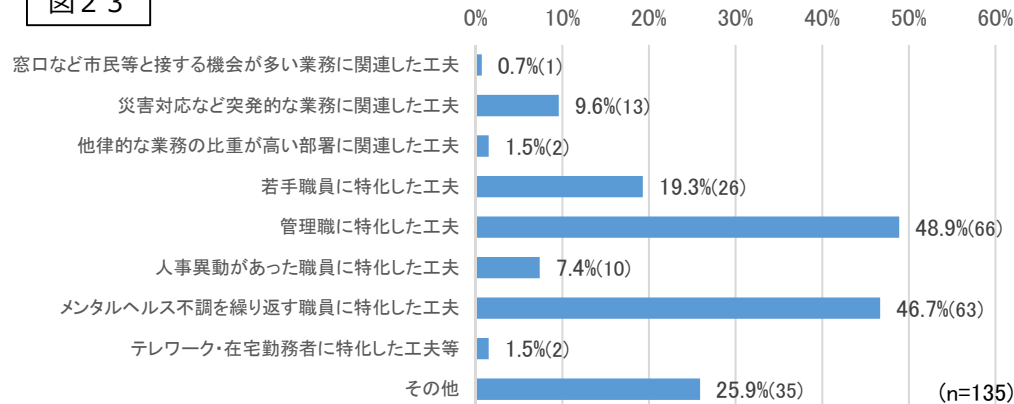


図 2 3

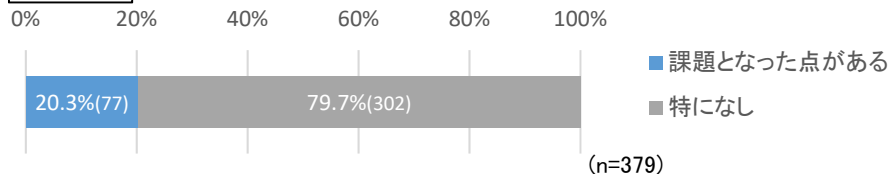


○ 工夫・考慮した点の主な内容（自由記載）

- ・メンタルヘルスや健康管理の専門職を含むメンタルヘルス対策ワーキンググループを設置し、様々な立場からの意見を踏まえて検討
- ・広くメンタルヘルス対策の基本的な推進項目を浸透させるために、業務内容や職員の特性にとらわれない横断的な内容とした
- ・主治医、本人、所属長に分けて、それぞれが行うべきことをステップ毎に記載
- ・行政経営革新プログラムの取組と連携
- ・環境変化の大きい職員（新規採用職員、被災地派遣等）に特化
- ・安全・快適で働きやすい職場環境形成のため、職場ドックを推進
- ・メンタルヘルス研修受講の必須化(セルフケア研修、ラインケア研修)
- ・ワークライフバランスの観点を踏まえた取組の推進

【策定にあたって課題となった点】

図 2 4

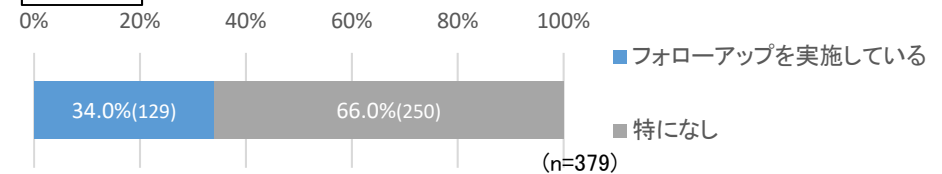


○ 課題となった点の主な内容（自由記載）

- ・若手職員のメンタル不調の増加
- ・休職者（特に精神疾患による）の再発防止
- ・復職支援プログラムの中止や復職可能の判断を主治医・産業医・所属・人事部門で協議する上で参考となる、評価や判断する基準がない
- ・職場にメンタルヘルス不調を「相談」するハードルが高い
- ・適切な目標数値の設定（現状維持か、理想の数値を目標とするのか等）

【フォローアップの実施】

図 2 5



○ フォローアップの主な内容（自由記載）

- ・定期的な見直し、検討の実施
- ・目標数値、効果指標を設け、達成状況を振り返る
- ・方針等の中間見直し、改定の際の指標に対する改善状況の確認
- ・安全衛生委員会等で報告・協議
- ・中間アンケート調査の実施により、計画の浸透度や計画の見直しについて確認